



東証スタンダード：3131

2023年度 第2四半期決算補足説明資料（臨時）

2023年11月9日

1. ポイント（2023年度 上半期）

◇販売面

✓販売構成の変化



システム製品分野  半導体製品・ディスプレイ分野

✓外貨（ドル建て）販売比率の減少



◇利益面

✓営業損益 ▶ 黒字転換

✓経常損益 ▶ 赤字継続 → 黒字化見込み

2023年8月8日付
通期業績予想に対し、
ほぼ、想定どおりの
推移となります。

◇今後の見通し

現段階で、2023年8月8日公表の通期連結業績及び配当予想に変更はありません。

- 主要取引先の民事再生にかかる貸倒引当金計上のリカバリーへの取組みは継続中。
- メモリ及びディスプレイ市況がいまだ低迷中。市場により改善状況がまだら模様。
- 今後の為替動向が不透明（為替差損益の増減の可能性あり）。

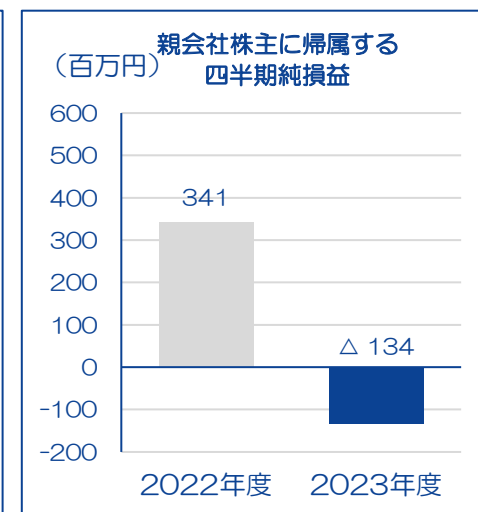
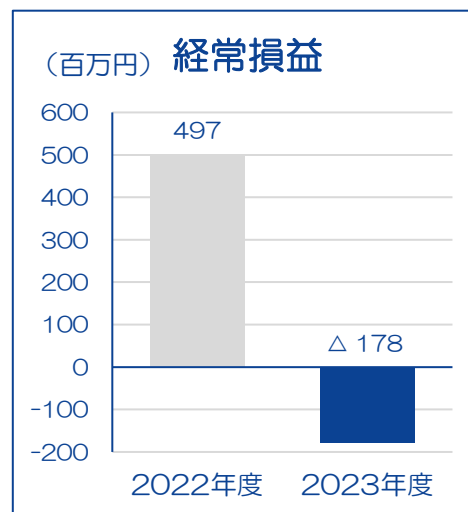
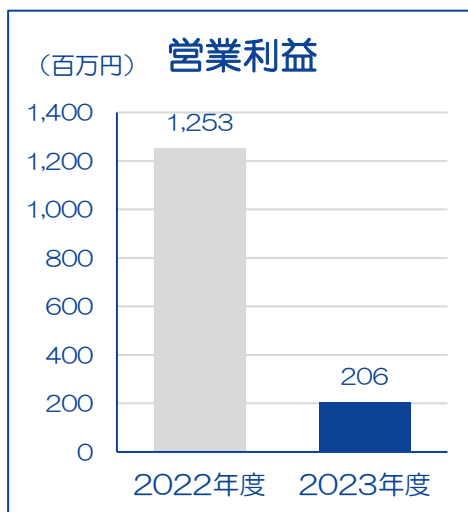
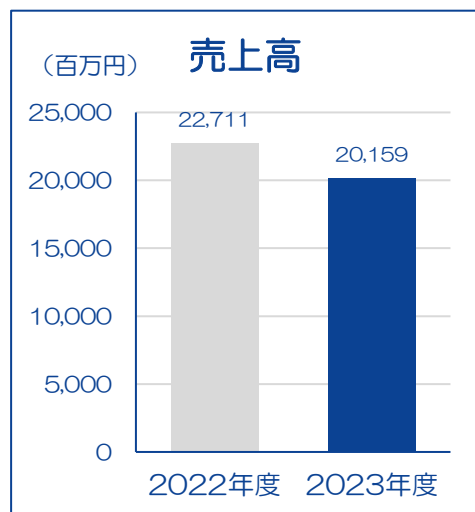


引続き業績見通しの精査を行い、開示すべき事項が判明した場合、速やかにお知らせします。

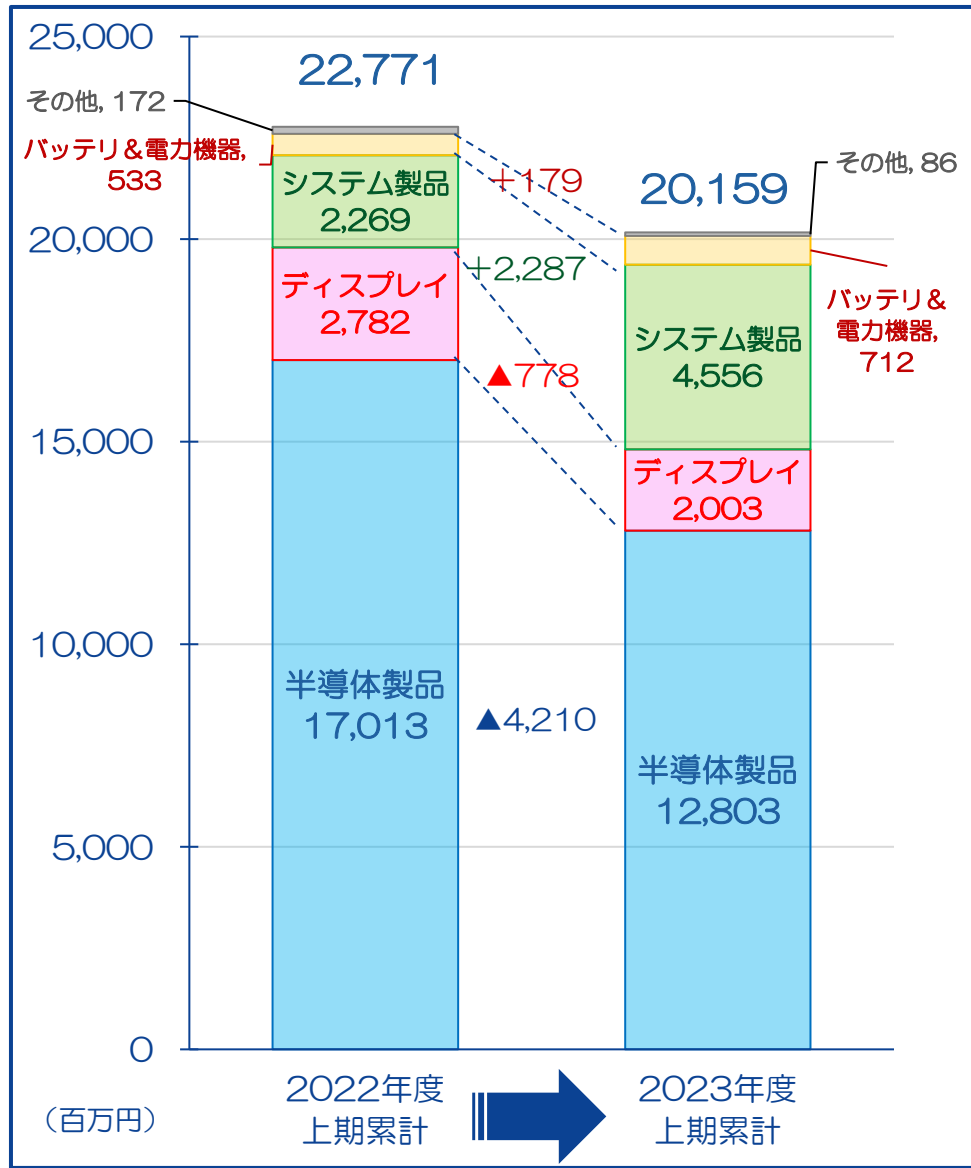
なお、現時点で、2025年度を最終年度とする中期経営目標に対して影響を及ぼす可能性のある事象は発生していません。

2. 業績サマリ

金額単位：百万円	前年度上期実績 (2022年度)	当年度上期実績 (2023年度)	増減額	増減率
売上高	22,771	20,159	△2,611	△11.5%
営業利益	1,253	206	△1,046	△83.5%
経常損益	497	△178	△675	—
親会社株主に帰属 する四半期純損益	341	△134	△475	—



3. 連結売上高について

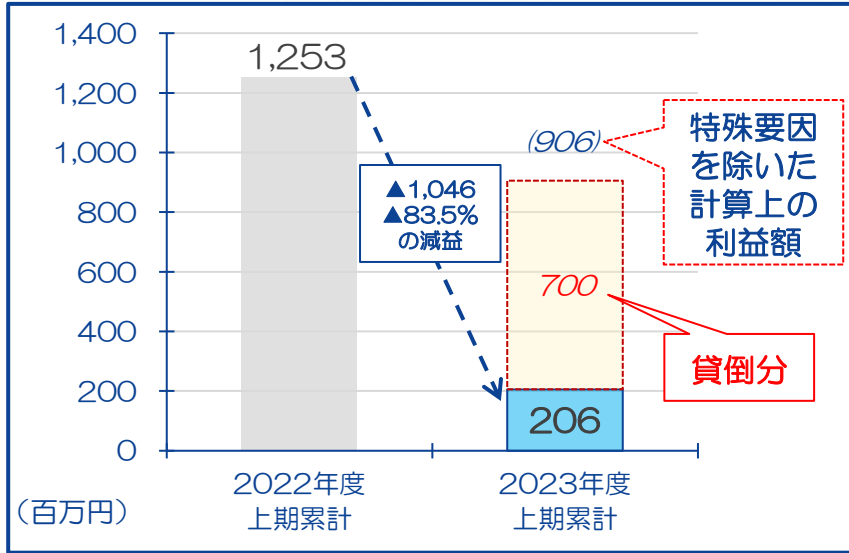


前年同期	増減	進捗%
	▲2,611百万円 ▲11.5%	8/8修正見通しに対し 45.3%の進捗
品目別	増減%	状況
半導体製品	▲24.7%	非メモリ商品は堅調に推移しているものの、メモリ市況の悪化継続による汎用品ボリュームビジネスの減少。
ディスプレイ	▲28.0%	主に個人消費に依存する製品向けのディスプレイ市況の悪化継続及び主要顧客の民事再生によって汎用品ボリュームビジネスが減少。
システム製品	+100.8%	検査用等の装置向けが堅調。EMSビジネスが好調。サーバ機器ビジネスの新規獲得。
バッテリー&電力機器	+33.5%	主力の家庭用蓄電システム向けリチウムイオンバッテリービジネスが増加。

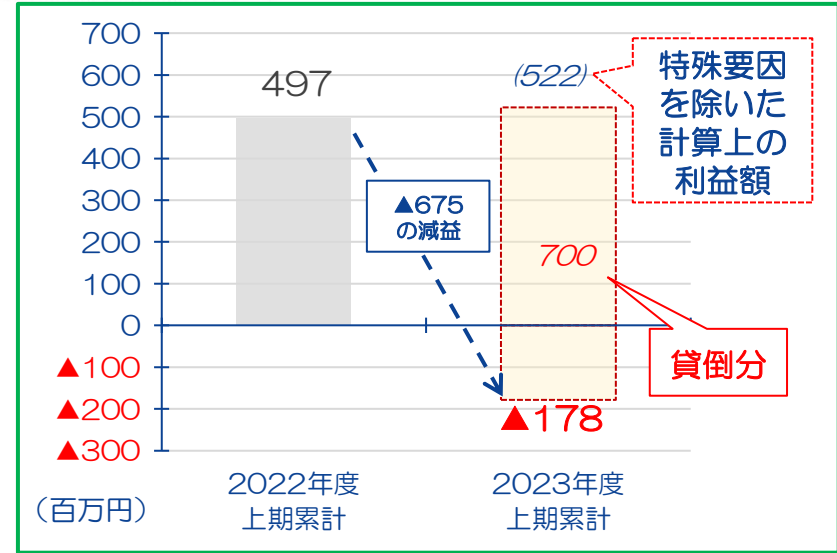
- ▷前年度上期に対し、販売構成が変化している。
- ✓半導体製品・ディスプレイ分野が減少。
 - ✓システム製品分野が増加。
↑ 前中期経営期間における収益構造改革の重要分野。
 - ✓外貨（ドル建て）販売比率が減少。
→ 円安効果が弱まる。

4. 連結営業及び経常損益について

営業損益



経常損益



営業損益

売上総利益

半導体製品分野及びディスプレイ分野の不調を、比較的利益率の高いシステム製品分野でリカバリーする構図。前年同四半期の円安効果が弱まっている（当初より一定程度織込）が、ほぼ当初の想定どおり。

販売費及び一般管理費

第1四半期に、貸倒引当金繰入額を計上（＝特殊要因）したことで、大幅に増加。ただし、特殊要因を除いた、その他の販売費及び一般管理費の合計は、前年度より節減。

ビジネス自体の収益（売上総利益ベース）は、ほぼ当初の想定どおりの推移。当第2四半期に黒字転換なるも、特殊要因の影響を受け、結果的に大幅な減益。
特殊要因を除いた計算上の利益額は、上表（左）のとおり、ほぼ「当初の想定（減益想定）の推移」となっている。

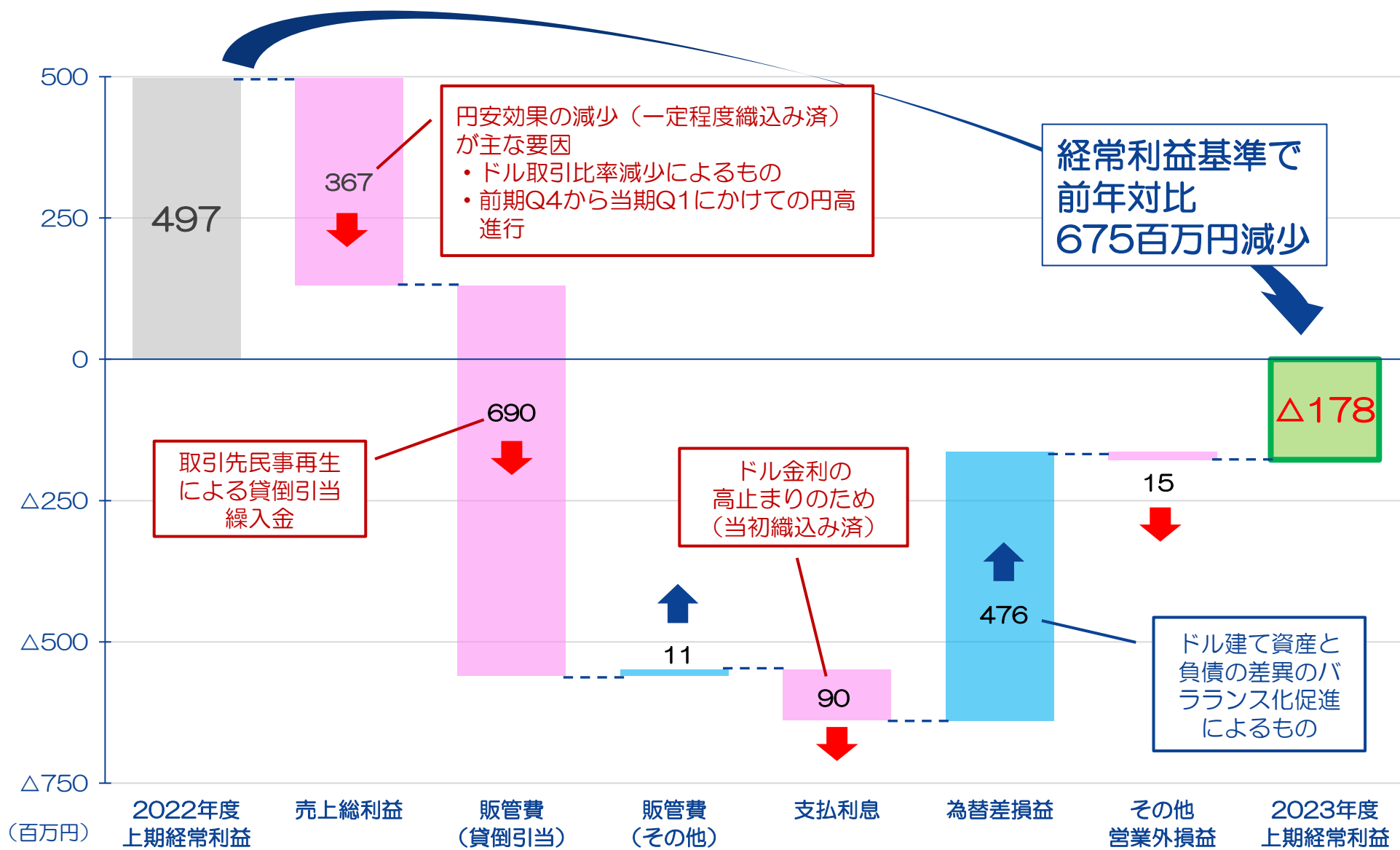
経常損益

営業外損益

前年同期に対し、財政面におけるドル建資産と同負債のバランスの差異が小さくなったため、営業外損益における為替差損額が大幅に減少しておりますが、当第2四半期においても為替差損を計上。

特殊要因の影響を受けた営業損益と為替差損で、結果的に大幅な減益。ただし、「黒字転換」の見込み。
特殊要因を除いた計算上の利益額は、上表（右）のとおり、ほぼ「当初の想定（増益想定）の推移」となっている。
現在のドル建資産と同負債のバランスの差異が、今後も同じ推移で進行すると仮定した場合、為替相場が円安に進行したときは為替差損額が増加し、円高に進行したときは圧縮されると見込むため、今後の為替相場次第で経常損益は変動する可能性あり。

5. 連結経常損益の主な増減内訳について



6. 中期経営目標に変更はありません。

■ 次期中期経営期間における販売戦略は、推進中の「収益構造改革」の基本構造を踏襲しつつ、経営基盤戦略を充実させ、下記の中期経営目標の達成に向けて邁進します。

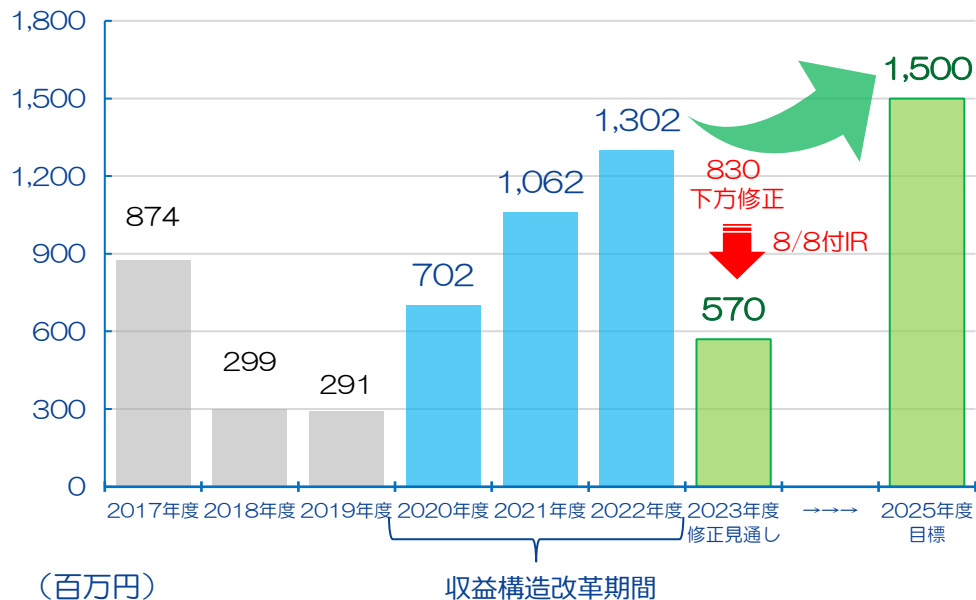
目標①

変更なし

2025年度連結経常利益

15億円

【経常利益】



目標②

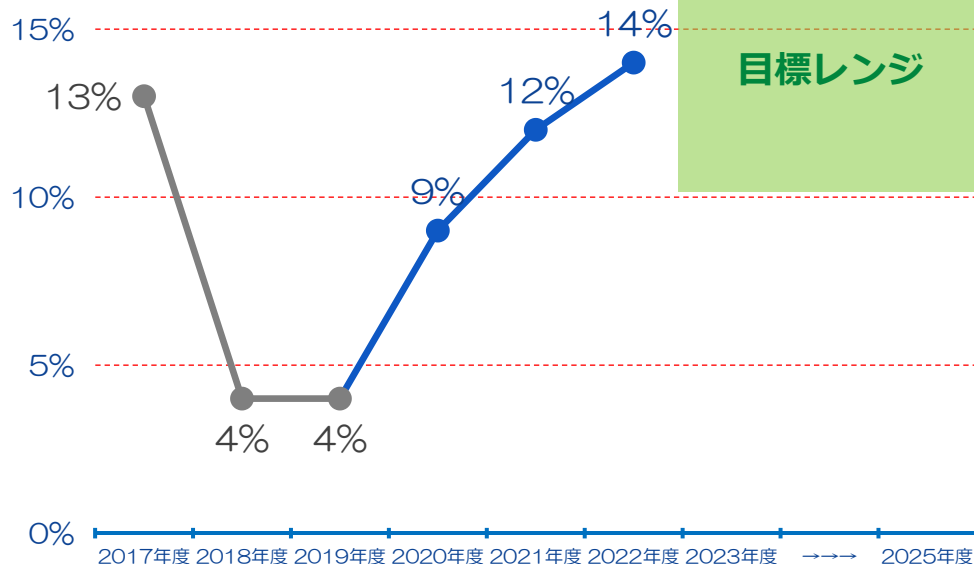
変更なし

ROE

(※) 自己資本利益率
ROE=当期純利益÷自己資本×100

10%以上を継続する。

【ROE】



本資料は、シンデン・ハイテックス株式会社（以下、当社）の事業及び業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

本資料における将来の展望に関する表明は、2023年11月9日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の展望に対する表明、予想に関しては、必ずしも実現することをお約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもあり得ますことをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

シンデン・ハイテックス株式会社
経営企画室

フリーコール：0800-5000-345